

題材指導計画

4年音楽「様子を思いうかべて」(全10時間)教材群：もみじ、おどろう楽しいポーレチケ、まほう使いの弟子、つるのおん返し

- 題材の目標
- ・拍子の違いや旋律の特徴などを感じ取って、聴いたり表現を工夫したりすることができるようにする。
 - ・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。
- 評価規準
- ア、音楽の特徴をつかんで様子を想像しながら進んで聴いたり表現しようとしている。(関心・意欲・態度)
 - イ、拍子の違いや旋律の特徴を生かした表現を工夫している。(感受・表現の工夫)
 - ウ、拍子の特徴を生かして表現したり、場面に合う音楽をつくって表現したりすることができる。(表現の技能)
 - エ、曲想を感じ取って、場面を豊かに想像しながら聴くことができる。(鑑賞の能力)

時	ねらい	主な学習活動	評価規準	個のつまずきに対する主な指導援助
1	「もみじ」の歌詞の意味を理解し、様子を思い浮かべながら伸び伸びとした声で歌うことができる。	<p>「もみじ」を聴き、様子を思い浮かべながら歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もみじ」の範唱を聴く。 ・「もみじ」の歌詞を朗読する。 ・詩を読んだり、曲を聴いて思い浮かんだ様子について話し合い、日本の自然が作り出す四季の美しさに気づく。 ・主旋律を歌う。 ・曲に合わせて指揮を試みる。 ・美しい自然様子を思い浮かべながら明るい声でのびのび歌う。 	<p>関心意欲態度</p> <p>秋の美しい様子を思い浮かべ、明るく伸び伸びとイメージに合った歌い方をしようとしている。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>情景や様子を思い浮かべて歌うことができない。</p> <p>評価</p> <p>机間指導による表現の見届け</p> <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい紅葉の写真を見せ、情景を想像させる。 ・明るい声で伸び伸び歌っている友だちの歌い方の良さに気づかせる。
2	「もみじ」で二つの声部が重なり合う響きのおもしろさを感じ取りながら二部合唱をすることができる。	<p>二つの声が重なる響きを感じて二部合唱しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、副次的な旋律がどのように歌われているのかに気づく。(前半：輪唱、後半：和声的な響き) ・副次的な旋律を歌う。 ・グループで主旋律と副次的な旋律に分かれて二部合唱をする。 ・互いの声部を聴き、響きを感じながら歌う。 ・グループごとに発表をする。 ・他のグループの歌い方の良さに気づく。 	<p>表現の技能</p> <p>他のパートを聴き、二つの声が重なり合う響きのおもしろさを感じ取って表現することができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>二つの声が重なり合う響きを感じて歌うことができない。</p> <p>評価</p> <p>グループ練習の見届けと発表会による評価</p> <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の声を聴きながら歌うように意識させる。 ・3フレーズ目の「まつをいどる～」の部分の響きの美しさに気づかせる。
3	「おどろう楽しいポーレチケ」の曲で、3拍子の気分を感じ取って歌ったり身体表現をしたりすることができる。	<p>3拍子のリズムを感じて、歌ったり指揮をしたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、何拍子の音楽かを考える。 ・範唱を聴いて、身体反応や身体表現をしながら、3拍子の気分を感じ取る。 ・歌詞唱や階名唱をし、主旋律を覚える。 ・1～4節までの歌詞の内容から、速度の変化について話し合う。 ・情景を思い浮かべ、強弱や速度を工夫して歌ったり、身体表現を工夫したりする。 	<p>感受表現の工夫</p> <p>3拍子の特徴を感じ取って、表現の仕方を工夫することができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>3拍子のリズムに乗って歌ったり、指揮をすることができない</p> <p>評価</p> <p>机間指導による表現の見届け</p> <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子のリズムがよく感じられるように1拍目を強く打つ。 ・打楽器を使って3拍子を表す。
4	「おどろう楽しいポーレチケ」の曲で、声の出し方や発音に気をつけながら響きのある二部合唱を工夫する。	<p>様子を思い浮かべて、二部合唱しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて、3段目が二部合唱になっていることに気づく。 ・3段目の低音部を歌詞唱や階名唱で歌う。 ・や の音程について確認する。 ・1、2段目は主旋律を歌い、3段目は低音部を歌う。 ・声の出し方や発音に気をつけ、二つの声の重なり合う響きを味わいながら二部合唱をする。(グループ練習) ・互いの声を聴き合い、楽しく踊る様子を思い浮かべながら、二部合唱をする。 	<p>表現の技能</p> <p>楽しく踊る様子を感じ取り、声の出し方や発音に気をつけて、響きのある二部合唱ができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>様子を思い浮かべて歌うことができない。</p> <p>評価</p> <p>グループ練習における見届け</p> <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子のリズムに乗って歌うようにする。 ・歌詞の意味から楽しく踊る様子を想像させる。
5	曲想の変化を感じ取って、場面の様子を想像しながら聴いたり、オーケストラのいろいろな楽器の音色や、重なり合う音の響きを味わって聴いたりすることができる。	<p>曲の変化を感じ取って、物語の場面を想像しながら聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな様子を表した音楽か、場面の様子を想像しながら聴く。 ・挿絵を見て、曲の感じからどの場面の演奏かを想像しながら音楽を聴く。 ・音楽を聴いて感じたことや、思い浮かんだ様子、情景などを話し合う。 ・演奏している楽器の音色や音の響きに気をつけながら聴く。 ・特徴的な旋律を口ずさんだり和音の響きを味わったりしながら、楽しく聴く。 ・身体反応や身体表現をしながら聴く。 	<p>鑑賞の能力</p> <p>リズム、旋律、和音、楽器の音色、音の強弱、速度などの曲想の変化から、場面の様子を想像しながら聴くことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>場面の様子を想像して聴くことができない。</p> <p>評価</p> <p>学習プリントや発言による評価</p> <p>手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を見ながら聴くことで場面の様子を想像しやすくする。 ・映画「ファンタジア」を視聴し、音楽と場面の関わりを感じながら聴くようにさせる。

時	ねらい	主な学習活動	評価規準	個のつまずきに対する指導・援助
6	「つるのおん返し」の物語や音楽を聴き、場面の様子を想像しながら聴くことができる。	つるのおん返しを聴き、場面の様子を思い浮かべよう。 ・「つるのおん返し」のお話を聞く。 ・「つるのおん返し」の曲を聴く。 ・場所、季節、登場人物、場面展開などを話し合う。 ・心情や情景などから、聞こえてくる音を想像して発表する。 ・主旋律を口ずさみ、曲のイメージや場面の様子をつかむ。	鑑賞の能力 「つるのおん返し」の物語を読んだり聴いたりして、場面の様子や情景を豊かに想像することができる。	つまずきの様相 曲の様子を思い浮かべながら聴けない。 評価 学習プリントによる評価や、様子の交流 手だて 歌詞を朗読したり主旋律を口ずさんだりして、詩の意味から様子を思い浮かべることができる。
7	「つるのおん返し」の場面の様子に合うように歌い方や朗読を工夫したり、副次的な旋律や間奏を入れて組み合わせて表現したりすることができる。	場面の様子に合うように、歌ったり朗読や間奏を入れたりしよう。 ・気持ちを込めて歌詞を朗読する。 ・ひとつひとつの言葉を大切にしながら、気持ちを込めて歌い方を工夫する。 ・表情豊かに朗読する。 ・朗読と歌とを組み合わせる。 ・副次的な旋律や間奏を階名唱し、リコーダーで演奏する。 ・歌の情景に合う楽器を工夫する。	表現の技能 場面の様子に合うように、歌い方や朗読・間奏を工夫して表現することができる。	つまずきの様相 場面の様子に合うように歌ったり朗読したりできない 評価 机間指導による表現の見届け 手だて ・場面の様子を確認する。 ・友だちの表現の良さに気づかせる。 ・歌詞や朗読の言葉の意味に触れ、ひとつひとつの言葉を大切に表現させる。
8	自分が表現したい場面の様子を思い浮かべ、雪が降っている様子やつるの様子など、思い浮かべたイメージに合った表現を工夫することができる。	場面の様子に合うように、雪やつるの様子、機をおる音などを工夫しよう。 ・場面の様子や気持ちを感じ取り、音のイメージをもつ。 ・グループごとに楽器や身近な物を使って表現を工夫する。 雪が降ってくる音 つるがわなにかかっている音 夜、戸をたたく音 機をおる音 など ・グループの友だちと考えを出し合っ て、よりイメージに合った表現を工夫する。	感受表現の工夫 場面の様子に合うように、音や表現の仕方を工夫することができる。	つまずきの様相 雪の音、つるの様子など、場面に合わせた音を考えることができない。 評価 グループ練習における見届け 手だて ・雪が降る音やつるの羽音、戸をたたく音などを具体的な言葉でイメージできるようにする。 (チラチラ、バサバサ、ドンドンなど) ・友だちの表現の良さに気づかせる。
9	雪が降っている様子やつるの様子など場面の様子を思い浮かべた表現や、朗読や間奏など、やわらかい音色やなめらかな奏法などで気持ちをこめて表現することができる。	場面の様子に合うように、歌、朗読、間奏、副次的な旋律、つくった音を気持ちをこめて表現しよう。 ・自分の役割をどのような願いを持ってどのようなことに気をつけて表現したらよいか考える。 ・場面の様子やイメージを大切に願いをもって表現する。 ・グループでそれぞれのパートを合わせて演奏する。 ・中間交流をして互いに工夫した点を認め合い、自分たちの表現に生かす。	表現の技能 場面の様子や気持ちに合うように、歌や朗読、間奏、副次的な旋律、つくった音などを、やわらかい音色やなめらかな奏法などで表現することができる。	つまずきの様相 場面の様子に合うように、やわらかい音色やなめらかな奏法で表現することができない。 評価 グループ練習における見届け 手だて ・友だち同士で演奏を交流しあい、良さや工夫を認め合う中で、自分の表現について振り返るようにする。 ・リコーダーのやわらかいタンギングのつけかた、鉄琴のアクセントのつけかたに気をつけさせる。
10	グループごとに考えた表現の交流を行い、表現の工夫や良さを感ずることができる。	つるのおん返しの発表会をしよう。 ・場面の様子を思い浮かべながら気持ちを込めて演奏しよう。 ・友だちの表現の工夫や良さを見つけてよう。 ・自分たちで工夫した「つるのおん返し」の演奏をする。 ・全体の流れを大切に演奏する。 ・場面の様子を思い浮かべながら気持ちを込めて演奏する。 ・感想を交流する。 ・他のグループの表現の工夫や良さを見つける。	関心意欲態度 物語の流れを考えながら、友だちと協力して表現をまとめようとしている。	つまずきの様相 友だちの演奏の工夫や良さを見つけていけない。 評価 学習プリントへの記入や、発表会での間奏の交流での評価 手だて 演奏を聴く視点「場面にふさわしい音や音楽がつけられているか」を明確にする。